

先週は命について各学級で考えました。授業参観、学級懇談会への参加をいただきありがとうございました。写真はにこにこ学級の学びの様子です。震災に見舞われ助かった自分の命について考えていました。



楠浦小 学校だより

2021. 7. 20

第5号 学校版

# 楠の葉

## 命を大切にすることを育む週間 7/12 (月) ~ 16 (金)

### ◇児童の学びの様子から

1年 つるだ にこ  
じぶんのことといっしょに  
ともだちのいのちもたいせつ  
にしたいです。しぬことはか  
なしいけれどじぶんのこころ  
をたいせつにしたいです。

2年 中谷いっさ  
いのちを大切にする人もし  
ない人もいる。ぼくはいき  
ていられるまで、ずっとい  
のちを大切にしたい。人間  
にはいのちはひとつしか  
ない。いのちはかえることは  
できないたいせつなものだ。

3年 中山ななみ  
ゆきなさんの命という詩  
を読んで、改めて命って  
だいじなんだなあと思  
いました。命は休むこと  
なく働いているというこ  
とばが心に残りました。大  
切にしたいです。

4年 寺岡めり  
私は生きる意味について考えたことがあ  
ります。病気で私のおじいちゃんがな  
くなったときのことを思い出しました。病  
気や寿命いろいろあっても最後までせい  
いっぱい生きたいと思いました。

5年 濱とわ  
ゆきなさんが重く苦しい病気とたたかいながら命  
を大切に生きようとしていたところがとてもす  
ごいと感じました。わたしも命がつかれたというま  
で最後までしっかり生きていこうと思います。

6年 村尾ももか  
私は、まだ命の大切さを十分わかっていなくて、「死」という言葉を軽々しく使うことがありました。でもゆきなさんのように命を大切に生きて助からない命があることを知りました。命があるのは当たり前のように思っていたけれど当たり前ではないし、死ぬということがどんなにつらいことかを考えずに「死」ということばを使っていたんだなあと思いました。これからは精一杯生きることを、言葉だけではなくちゃんと行動で示していこうと考えています。

校長講話では小学校5年生でなくなった宮越ゆきなさんに関する3編の詩から、ゆきなさんの思いを想像することを通して、自分自身のこれまでの生活を振り返りました。児童は、ゆきなさんの死に触れ、自分のまわりの方々の死を思いだしたり、自分自身の命について考えを深めたりしていました。

## 掘切唄練習開始

6年生が継承している掘切唄の練習が、今年も夏休みから本格的に始まります。子どもたちの指導には、平嶋夏男さん（全体指導）、大中博文さん、大中秀行さん、川上さん（三味線の指導）に協力をいただきます。地区振興会や地域の皆様からのご支援によりいただいている三味線には、田中ゆなさん、鬼塚にこさん、吉田みのりさん、袋田せなさんが取り組んでいます。太鼓には飽田ゆづきさんが取り組みます。今後6年生は、9月に開催される楠浦町敬老会を皮切りに、11月の楠浦フェスタに出場する予定です。皆様の応援をよろしくお願いします。



## あいさつ運動

毎月1日は、稜南中校区3校であいさつ運動を実施しています。

5月6日の運動からは、企画委員の子どもたちが参加しました。毎日、見守りをしてくださっている地域の支援の方々、吉田PTA会長、駐在所の宮川さん、本当にありがとうございます。すべての地域の方々へ、楠浦小の児童の元気をあいさつで届けて欲しいと思います。そして、企画委員会のみならず、多くの児童が相互にあいさつを交わし、楠浦町の多くのところであいさつの声が響き渡ればと願っています。



夏休みになります。あいさつには休みはありません。がんばってほしいです。

## 1学期の 読書量結果から

1学期の学校評価では、保護者、児童ともに評価の低かった読書活動です。そんななかでも、毎日しっかり図書室へ行き、本を借り、心に栄養を与え続けていた人たちを紹介します。（100さつ以上のみ紹介）

- （2年）金子ここあさん179さつ
- 田中あこさん130さつ
- 濱ひろきさん127さつ
- 濱りのあさん124さつ
- （1年）大窪りんのすけさん  
105さつ
- つるだにこさん105さつ

## 地域学校協働活動紹介

地域学校協働活動推進員の飽田さん恒例の、手作りのそうめん流しがクラブ活動で実施されました。とても楽しそうでした。

